

## 会報

### I. 電子ジャーナル掲載論文の紹介

平成18年1月発行の医用画像情報学会雑誌電子ジャーナル (Vol.23, No.1) に、以下の論文が掲載されました。学会のウェブページ (www.mii-sci.jp) から論文を閲覧することが可能です。

#### 【特別講演資料：2編】

大学からの技術移転の戦略 - 歯科用および実験動物用マイクロCTの開発経験から -

松本歯科大学大学院・新井 嘉則

デジタルマンモグラフィの現状と将来

G E 横河メディカルシステム(株)・船木 新壽

#### 【研究速報：1編】

Dual Double-gradient-echo MRI for Liver Fat Content Analysis

Kanazawa University・Sayoko MATSUNAGA

### II. 平成17年度秋季(第143回)大会記事

平成17年度秋季(第143回)大会を下記のように開催しました。

日時：平成17年10月15日(土)10:30~17:10

会場：田辺製薬株式会社東京事業所内ホール(7階)

〒102-8355 東京都千代田区三番町26番地

TEL 03-3230-6611

参加費：会員2,000円、非会員4,000円、学生無料

#### 【特別講演1】10:30~11:30

「大学からの技術移転の戦略」- 歯科用および実験動物用マイクロCTの開発経験から -

松本歯科大学大学院 硬組織疾患制御再建学講座  
新井嘉則 先生

昼食(理事会)11:30~13:00

#### 【特別講演2】13:00~14:00

「デジタルマンモグラフィの現状と将来」

G E 横河メディカルシステム(株) X線営業部  
船木新壽 先生

#### 【内田論文賞・受賞者講演】14:00~14:15

演者：小倉敏裕

内田論文賞・受賞論文：

著者：小倉敏裕、浅野和也、金田伸也、清水宏史、長田千晴、猪狩功遺

表題：カーブドスラブ Min IP 法による膈管、胆道イメージング

巻号ページ：Vol.21, No.1, pp.152-158.

【研究発表】14:20~17:10 (1演題20分)

・セッションA(4演題：14:20~15:40)

・セッションB(4演題：15:50~17:10)

セッションA 14:20~15:40

A1. 前立腺癌検出のためのX線CT画像における腹腔内脂肪分布評価

長壁健一\*, 佐瀬広和\*, 前村啓介\*, 木村恵司\*, 小金沢亮\*, 鈴木美恵子\*, 真下由香里\*, 望月菜央\*, 小倉敏裕\*\*, 下村洋之助\*\*

\*群馬県立医療短期大学診療放射線学科, \*\*群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部診療放射線学科, A2. 直腸癌検出のためのX線CT画像における腹腔内脂肪分布評価

木村恵司\*, 長壁健一\*, 佐瀬広和\*, 小金沢亮\*, 前村啓介\*, 小倉敏裕\*\*, 下村洋之助\*\*

\*群馬県立医療短期大学診療放射線学科, \*\*群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部,

A3. 体幹部X線CT画像における横隔膜の推定手法の改善

二宮啓彰\*, 周向栄\*\*, 原武史\*\*, 藤田広志\*\*, 横山龍二郎\*\*, 桐生拓司\*\*\*, 兼松雅之\*\*\*, 星博昭\*\*\*

\*岐阜大学工学部応用情報学科, \*\*岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻知能イメージ情報分野, \*\*\*岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍制御学講座放射線医学分野

A4. 体腔変形を用いた3次元CT画像における多臓器位置の正規化に関する研究

奥尾一将\*, 周向栄\*, 原武史\*, 藤田広志\*, 横山龍二郎\*, 桐生拓司\*\*\*, 兼松雅之\*\*\*, 星博昭\*\*\*

\*岐阜大学大学院医学系研究科知能イメージ情報分野, \*\*岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍制御学講座放射線医学分野

セッションB 15:50~17:10

B1. 心臓MR画像における心筋症の診断支援システムの開発

宮地史章\*, 福岡大輔\*\*, 富田政明\*\*\*, 山田功\*\*\*\*

\*岐阜工業高等専門学校電気情報工学科, \*\*岐阜大学教育学部, \*\*\*海南病院内科, \*\*\*\*岐阜工業高等専門学校電気情報工学科

B2. C d S素子を用いたX線ポータブル写真プレビュー装置の画像特性について

島田哲雄\*, アハメド シャハリアル\*, 関谷勝\*\*

\*新潟産業大学生活工学研究所, \*\*新潟大学医学部保健学科

B3. 頭部CT画像における急性期脳梗塞の描出能改善のための画像処理法

李鎔範\*, 高橋規之\*\*, \*\*\*, 蔡篤儀\*

\*新潟大学医学部保健学科, \*\*仙台市立病院中央放射線科, \*\*\*新潟大学大学院保健学研究科保健学専攻

B4. コンプトン散乱法で2種類の異なる散乱体を用いて測定した乳房用X線装置のスペクトルの検討

松本政雄\*, 大西健太郎\*\*, 田中智佳子\*\*, \*大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻, \*\*大阪大学医学部保健学科

### III. 平成17年度春季(第144回)大会記事

平成17年度春季(第144回)大会を下記のように開催しました。

日時：平成18年2月4日(土曜日), 10:00~16:50

会場：キャンパスプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル

TEL 075-353-9111

参加費：会員2,000円、非会員4,000円、学生無料,

京都画像研究会員 2,000 円  
協賛：京都画像研究会

【特別講演 1】10:00~11:00

「触覚情報の医療応用—もう一つの 3 次元レンダリング」

滋賀医科大学 医学部生命科学講座教授  
小森 優 先生

【特別講演 2】11:00~12:00

「リアルタイム三次元画像によるナビゲーション医療開発」

滋賀医科大学 医学部外科学講座教授  
谷 徹 先生

12:10~13:20 昼食 (理事会)

【研究発表】13:30~16:50 (1 演題 15 分)

・セッション A (6 演題: 13:30~15:00)

・セッション B (6 演題: 15:20~16:50)

セッション A 13:30~15:00

A1. デジタルマンモグラフィにおける最適化撮影のための画質と被曝線量について

松本政雄, 渡部桃子, 小濱千幸\*, 井手口忠光\*\*, 田中勇\*\*\*, 前田浩志\*\*\*\*, 吉田彰\*\*\*\*\*, 寺田央\*\*\*\*\*, 東田善治\*\*\*\*\*

阪大院医・保健, \*JA 広島総合病院, \*\*国立九州医療センタ, \*\*\*博愛会病院, \*\*\*\*広国大・保健医療, \*\*\*\*\*県立広大院・総合学術, \*\*\*\*\*大阪警察病院・人間ドック, \*\*\*\*\*九大医・保健

A2. 新生児頭部 M モードエコー画像からの組織動き解析

青木裕一\*, 福澤理行\*, 荒木成久\*, 中森伸行\*, 山田正良\*, 狐塚善樹\*\*

\*京都工芸繊維大学工芸学部電子情報工学科, \*\*済生会兵庫県病院小児科

A3. インクジェットプリンタによる DICOM 出力の構築

天野貴司\*, 原内一\*, 大倉保彦\*\*, 荒尾信一\*, 林明子\*, 北山彰\*

\*川崎医療短期大学放射線技術科, \*\*広島国際大学保健医療学部診療放射線学

A4. CT 画像データベースの構築とそれに基づく人体の解剖学的構造の計測

栗本至\*, 周向栄\*, 原武史\*, 藤田広志\*, 桐生拓司\*\*, 兼松 雅之\*\*, 星 博昭\*\*

\*岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻知能イメージ情報分野, \*\*岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍制御講座放射線医学分野

A5. 前立腺癌症例の腹腔内脂肪分布評価

小倉敏裕\*, 下村洋之助\*, 五十嵐均\*, 平野邦弘\*, 白石明久\*, 根岸徹\*, 長島宏幸\*, 河野敦\*\*

\*群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部診療放射線学, \*\*癌研有明病院画像診断部

A6. 1 次元ウェーブレット変換による胸部単純 X 線写真の肺結節状陰影検出

小林龍徳, 窪田英明, 安藤聡志, 長谷川武夫  
鈴鹿医療科学大学大学院保健衛生学研究科

セッション B 15:20~16:50

B1. Wavelet 変換を用いた歯科用 3 次元 CT の画質改善

斎藤雅紀\*, 山本浩平\*\*, 中森伸行\*\*

\*京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科電子情報工学専攻, \*\*京都工芸繊維大学電子情報工学科

B2. 歯科 3 次元画像からの歯の 3 次元計測

山影陽平\*, 宮川和也\*\*, 中森伸行\*\*

\*京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科電子情報工学専攻, \*\*京都工芸繊維大学電子情報工学科

B3. オーバシュートとアンダーシュートをもつエッジ像に対応したプリサンプリング MTF の測定法

小椋潤, 原武史, 藤田広志

岐阜大学大学院医学系研究科知能イメージ情報分野

B4. マンモグラムにおける乳腺の分布評価に基づく構築の乱れの自動検出法

牧田貴成\*, 松原友子\*\*, 稲永和子\*\*\*, 原 武史\*\*\*\*, 藤田広志\*\*\*\*, 遠藤登喜子\*\*\*\*\*, 岩瀬拓士\*\*\*\*\*

\*岐阜大学工学部応用情報学科, \*\*名古屋文理大学情報文化学部情報メディア学科, \*\*\*コニカミノルタエムジー株式会社開発センター MI システム開発室 IS-G, \*\*\*\*岐阜大学大学院医学系研究科知能イメージ情報分野, \*\*\*\*\*国立病院機構名古屋医療センター放射線科, \*\*\*\*\*癌研有明病院乳腺科

B5. MTF に基づく適切な医用画像圧縮率に関する研究

李鎔範, 蔡篤儀

新潟大学医学部保健学科

B6. 乳腺超音波画像におけるエッジ画像を利用した腫瘍像の自動検出

池戸祐司\*, 福岡大輔\*\*, 原武史\*, 藤田広志\*, 高田悦雄\*\*\*, 遠藤登喜子\*\*\*\*, 森田孝子\*\*\*\*\*

\*岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻再生工学講座知能イメージ情報分野, \*\*岐阜大学教育学部技術教育講座, \*\*\*獨協医科大学光学医療センター超音波部門, \*\*\*\*名古屋医療センター放射線科, \*\*\*\*\*中日病院乳腺科

IV. 第 143 回理事会議事録

日時: 2005 年 10 月 15 日 (土) 11:30~13:00

会場: 田辺製薬株式会社東京事業所内ホール (7 階)

住所: 〒102-8355 東京都千代田区三番町 26 番地

出席者 (五十音順): 飯山, 奥村, 小倉, 片淵, 小島, 佐井, 真田, 関谷, 滝川, 弦巻, 中森, 長谷川 (伸), 原, 藤田, 船木, 細羽, 本田 (道), 松本, 杜下, 李

オブザーバー: 本田 (凡)

以上 (21 名)

会長の挨拶:

理事の自己紹介:

議題:

(1)平成 17 年度・春季 (第 144 回) 大会について準備状況の確認を行った。

(2)平成 18 年度・年次 (第 145 回) 大会は, 新潟で開催することとした。

(3)平成 18 年度・秋季 (第 146 回) 大会は, 東京周辺で開催することとした。

(4)平成 18 年度・春季 (第 147 回) 大会の開催場所等について意見交換を行った。

(5)電子版雑誌の発刊にむけて, 新しい投稿規定が提案され, 承認された。

(6)メールマガジンを運用実施することとした。

(7)事務局の仕事の一部外注化することとした。

(8)マンモ特集号を 2006 年 5 月に発刊することとした。

(9)内田論文賞および金森奨励賞の募集について確認が行われた。学会賞、功績賞、名誉会員への推薦があり、それぞれ承認された。

(10)賛助会員の新規勧誘や団体による学会雑誌定期購読等について話し合われた。

## V. 第 144 回理事会議事録

日時：平成 18 年 2 月 4 日 12:10~13:20

場所：京都キャンパスプラザ

住所：〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル  
出席者（五十音順）：飯山，遠藤，小倉，河野，小島，佐井，真田，関谷，滝川，中森，原，藤田，本田，松原，松本，李

以上（16名）

議題：

(1)平成 18 年度・年次（第 145 回）大会は，平成 18 年 6 月 3 日に有壬記念館（新潟市内）で開催することとした。新潟県放射線技師会の協賛が承認された。

(2)平成 18 年度・秋季（第 146 回）大会は，平成 18 年 10 月 7 日に第一製薬本社別館（東京都内）で開催することとした。

(3)平成 18 年度・春季（第 147 回）大会は，大阪で開催する予定とした。

(4)内田論文賞および金森奨励賞の選考委員会は，理事と監事で構成することとした。内田論文賞には，推薦 2 件と昨年度の次点候補の計 3 件の候補があった。金森奨励賞には，推薦 2 件の候補があった。

(5)紙面・電子ジャーナルともに，今まで発刊した紙面誌に継続した通番の Vol と No をつけることとした。ただし，紙面に電子ジャーナルにも掲載した原稿を記載する場合には，電子ジャーナルの方にオリジナリティがあると考え，紙面には必ず電子ジャーナルに掲載してある，旨を示すこととした。

(6)個人会員並びに賛助会員が年度途中で入会し，会費が 1 月～3 月間に納入された場合は，次年度の会費として取り扱うこととした。

(7)その他

メールマガジン登録者を増やすための取り組みを行うこととした。次次年度から電子ジャーナルのパスワード制を導入することとした。非賛助会員の広告費は，賛助会員費に準じた金額にすることとした。紙面雑誌の定価は，ページ数に応じて決定することとした（5 月発刊予定の乳房特集号は 7,000 円に設定した）。画像通信へ当学会の紹介記事を掲載することが了承された。発表演題の抄録の扱いについて話し合われた。学会としての対外的な活動（シンポジウム開催等）について話し合われた。

## 新入会員

新入会の方の氏名のみ掲載します（敬称略）。ご入会，ありがとうございました。

内山良一，清水宏史，大湯和彦，本元強，池戸祐司，五日市昭弘，小椋潤，牧田貴成，宮下芳一，松村杏奈，松山江里，大原弘  
（12名）

## 賛助会員

平成 18 年 4 月現在，本学会の賛助会員は以下の通りです。本学会，事業に対するご賛助に厚く感謝し，その会員名簿を掲載させていただきます（五十音順）。

(株)AZE，(株)インナービジョン，(株)ケイ・ジー・ティ  
ー，興和(株)，コダック(株)，コニカミノルタエムジー  
(株)，ザイオソフト(株)，シーメンス旭メディテック(株)，  
GE 横河メディカルシステム(株)，(株)島津製作所，タ  
ック(株)，タレスインターナショナルジャパン(株)，テ  
ラリコン・インコーポレイテッド，(株)第一ラジオア  
イソトープ研究所，東京特殊電線(株)，東洋メディッ  
ク(株)，(株)ナナオ，日本アグファ・ゲバルト(株)，日本  
メジフィジックス(株)，浜松ホトニクス(株)，ViewSend  
(株)，(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン，富  
士写真フイルム(株)

# 医用画像情報学会会則

1984年(昭和59年)6月30日制定  
1986年(昭和61年)6月7日改正  
1995年(平成7年)6月17日改正  
1996年(平成8年)6月7日改正  
1999年(平成11年)6月5日改正  
2002年(平成14年)6月9日改正  
2003年(平成15年)5月31日改正  
2005年(平成17年)6月4日改正

## 第1章 総則

第1条 本会の名称を医用画像情報学会とする。  
第2条 本会は、放射線像等の医用画像に関する基礎及び応用の研究を通じて、これら学問の進歩普及を図り、もって学術の発展に寄与することを目的とする。  
第3条 本会は、前条の目的を達するために次の事業を行う。  
1 年3回以上定期研究会の開催  
2 会誌の発行  
3 その他、理事会が適当と認めた事業の遂行  
第4条 本会事務所の所在地は細則で定める。

## 第2章 役員

第5条 本会の円滑な運営と第1章第2条の目的達成のため会長1名、監事2名及び理事若干名を置く。  
第6条 会長、監事は、本会の会員の中から会員の選挙によって決定し総会の承認を受ける。  
第7条 会長は、会を代表する。  
第8条 監事は民法第59条の職務を行い、本会の他の職務を兼ねることはできない。  
第9条 理事は、会員が選任する。ただし、理事の内2名以内は、会長の指名により選任することができる。  
第10条 常務理事は、会長が理事中より指名する。  
第11条 会長、理事及び監事の任期は3年とする。  
第12条 顧問は、会長が委嘱しこれを決める。

## 第3章 会員

第13条 本会の会員は、正会員、賛助会員及び名誉会員とする。  
第14条 本会に入会しようとする者は、理事会の承認を必要とする。  
第15条 正会員は、第1章第2条の目的に関心を持つ個人で資格は別にこれを定めない。  
第16条 賛助会員は、第1章第2条の目的に賛同し、その事業を援助する者又は団体とする。  
第17条 名誉会員は、本会に功労のあった者を理事会で定め、総会で承認する。  
2.会長、常務理事又は顧問を長年務めた者が名誉会員となるときは、理事会の承認を得て、それぞれ名誉会長、名誉理事又は名誉顧問と称することができる。  
第18条 正会員及び賛助会員の会費は細則に定める。  
第19条 会員でない者が、本会の研究発表会に参加するときは、別に所定の参加費を徴収する。  
第20条 退会は自由とする。

## 第4章 総会、常務理事会および理事会

第21条 年1回総会を行う。総会は会員の10分の1以上の出席をもって成立する。  
第22条 本会の事業を行うために、会長と常務理事により作られた常務理事会と、会長と理事により作られた理事会を置く。

第23条 常務理事会は、会の運営について審議し、その事業を行う。

第24条 常務理事会は、会長が欠員であるか、会長に事故があるときには、会長の任務を代行する。

第25条 常務理事会及び理事会は、常務理事又は理事の3分の1以上の出席をもって成立する。

2.名誉会長、名誉理事及び名誉顧問は理事会に出席し意見を述べるることができる。

第26条 会則の改正などの重要事項は、常務理事会及び理事会の審議を経て、総会の承認を得るものとする。

## 第5章 資産および会計

第27条 本会の資産は、会費及び寄付金をもってこれに当てる。

第28条 本会の事業遂行に要する費用は、前条によって生ずる資産をもって支弁する。

第29条 本会の収支決算は、常務理事会が作成し、理事会の審議を経て総会の承認を得るものとする。

第30条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月末日までとする。

## 第6章 会則の変更ならびに解散

第31条 本会の会則の変更は、常務理事会及び理事会の審議を経て、総会の承認を得るものとする。

第32条 本会の解散は、常務理事会及び理事会の審議を経て、総会の承認を得るものとする。

第33条 本会の解散に伴う残余財産は、理事会の議決を経て処理方法を決定し、総会の承認を得るものとする。

第34条 この会則施行についての細則は常務理事会の議決を経て別に定め、理事会の承認を得るものとする。

## 細則

### 第1章 会費

第1条 正会員の会費は1年につき5,000円、賛助会費は1年につき1口を30,000円(2分割払い可)とする。

第2条 会費を2年以上滞納したときは原則として退会とみなす。

### 第2章 役員および委員会

第3条 理事の互選により総務理事1名を選出する。総務理事は会務を取りまとめて常務理事会と理事会の運営に当たる。

第4条 会務を遂行するために、会長は常務理事の中から次の担当理事を委嘱し、委嘱された理事は若干名の会員とともに委員会を構成することができる。

- 1 庶務
- 2 財務
- 3 企画
- 4 編集

### 第3章 表彰

第5条 会則第3条第3号の事業の一環として、本会の目的又は事業に関し功績のあった者の表彰を行う。

第6条 表彰の種類、方法等については別に定める。

### 第4章 事務所

第7条 会則第4条の事務所の所在地は、新潟市旭町通2-746、新潟大学医学部保健学科医用放射線技術学講座とし、業務の一部は学会が指定する委託業者が行う。

# 医用画像情報学会表彰規定

1986 (昭和61年) 2月22日制定  
 1991 (平成3年) 2月9日改正  
 1997 (平成9年) 2月8日改正  
 1999 (平成11年) 1月30日改正  
 2001 (平成13年) 10月20日改正  
 2003 (平成15年) 5月31日改正

## 〔表彰の種類〕

第1条 表彰の種類は次のとおりとする。

- 1 医用画像情報学会賞
- 2 内田論文賞
- 3 金森奨励賞
- 4 功績賞

第2条 医用画像情報学会賞 (以下「学会賞」という) は、本学会役員として多年にわたり活躍し、かつ医用画像情報学に優れた業績を有する等、本学会の発展に際し特にその功績が顕著であった者にこの賞を贈呈する。

第3条 内田論文賞 (以下「論文賞」という) は、内田勝氏の本会創設の功労を永く讃えるために設けたものであり、医用画像情報学会雑誌 (以下「会誌」という) の論文欄に発表された論文の中から、特に優秀なものを選定して、これに贈呈する。

2.論文賞の対象となる論文は、表彰の時期の前年の12月までの1年間に発表された論文とする。ただし第11条4項に適用するものを除く。

3.論文が共著の場合は、著者全員が受賞するものとする。

第4条 金森奨励賞 (以下「奨励賞」という) は、金森仁志氏の永年にわたる本学会の発展的運営に対する功績を記念して設けたものであり、将来有能な研究者を育成するためのものである。

2.奨励賞の対象となる者は、会誌に発表された論文の内第1著者が表彰の年の3月31日現在満38歳以下の者とする。

3.奨励賞の対象となる論文は、表彰の時期の前年の12月までの1年間に発表された論文及び研究速報とし、これらの内から優秀な者を選定して、これに贈呈する。ただし第11条4項に適用するものを除く。

4.論文が共著の場合は、満38歳以下の著者全員が受賞する。

第5条 功績賞は、医用画像情報に関する学術、技術並びに本会の事業に対し功労があり、その功績が多大な者を選定して、これに贈呈する。

## 〔表彰の方法〕

第6条 受賞者の決定は、表彰選考委員会 (以下「委員会」という) の報告に基づき、理事会が行う。

第7条 学会賞と功績賞はそれぞれ毎年1名以内、論文賞と奨励賞はそれぞれ毎年1件以内に贈呈するものとする。ただし、理事会が必要と認めた場合は、この定数をこえて贈呈することができる。

2.各賞とも該当者がない場合には賞を贈呈しない。

第8条 賞を受けるものは、原則として本会の会員とする。

2.論文賞と奨励賞は、重複して受賞することができる。

3.学会賞並びに功績賞に関しては、同一人が同一の賞を再度受けることはできない。

第9条 表彰は表彰状を授与して行うものとする。表彰状には副賞を添えることができる。

2.賞は通常総会において贈呈する。

3.受賞者の氏名、業績の内容等は、会誌に発表する。

## 〔選考委員会〕

第10条 選考委員会は、理事の内から委員長が指名した委員をもって構成する。ただし、必要に応じてこれに学識経験者若干名を加えることができる。

2.委員長は、理事会の推薦により決定する。

第11条 選考委員会は、別表第1に定める選考手続により受賞候補者の選定を行う。

2.選考委員の3分の2の投票があれば有効とする。有効投票が3分の2に満たないときは、理事会の判断に委ねる。

3.論文賞、奨励賞のそれぞれの候補論文の投票数が同数の場合は、理事会の判断に委ねる。

4.論文賞、奨励賞の次点論文の扱いについて、受賞論文と投票差の少ない場合には、選考委員会の議を経て次年度の本選の候補論文とすることができる。

第12条 委員長は、前条の手続きにより受賞候補者の選定が終わったときは、その結果を理事会に報告する。

第13条 選考委員会は、理事会が受賞者を決定したときをもって解散する。

## 〔経 理〕

第14条 論文賞の経費は、原則として内田勝氏からの寄付金の利子により支弁する。

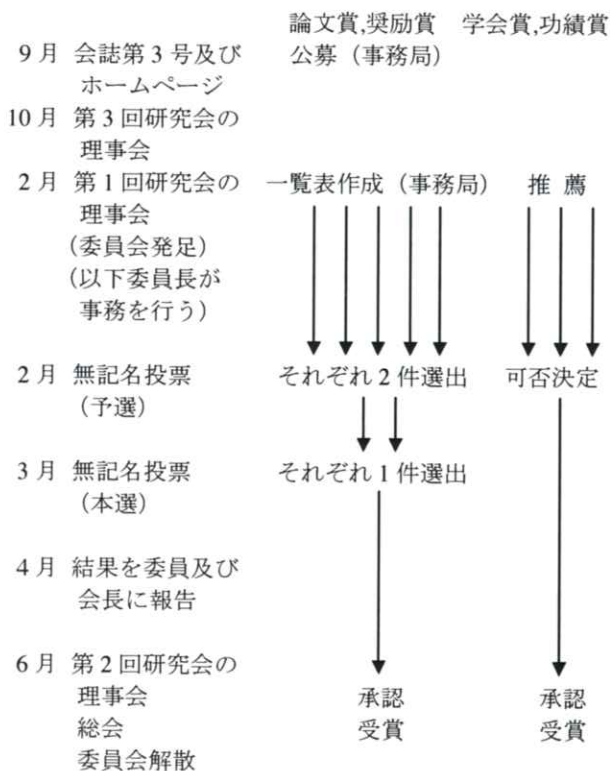
第15条 奨励賞の経費は、原則として金森仁志氏からの寄付金の利子により支弁する。

第16条 学会賞と功績賞の経費は、一般会計から支弁する。

## 〔そ の 他〕

第17条 この規程 (及び第11条に定める選定手続) の改正は理事会の議決による。

別表第1 受賞候補者選定手続 (第11条第1項関係)



## 役員

会長 藤田広志 (岐阜大学)  
名誉会長 内田 勝  
名誉理事 金森仁志  
名誉顧問 長谷川伸  
総務理事 佐井篤儀 (新潟大学)  
常務理事 [編集担当] 原 武史 (岐阜大学)  
[企画担当] 小島克之 (浜松大学)  
真田 茂 (金沢大学)  
中森伸行 (京都工繊大)  
[庶務担当] 李 鎔範 (新潟大学)  
[財務担当] 関谷 勝 (新潟大学)

## 理事

飯山清美 (コニカミノルタエムジー), 遠藤登喜子 (名古屋医療センター), 奥村泰彦 (明海大学), 小倉敏裕 (群馬県立県民健康科学大), 片渕哲朗 (岐阜医療科学大学), 木戸尚治 (山口大学), 河野和宏 (島津製作所), 小林修二 (コダック), 志村一男 (富士写真フイルム), 弦巻正樹 (中条中央病院), 船木新壽 (GE横河メディカルシステム), 本田道隆 (高松高専), 松原友子 (名古屋文理大), 松本政雄 (大阪大学), 杜下淳次 (九州大学)

## 監事

滝川 厚 (県立広島大学), 細羽 実 (京都医療技術短大)

## 編集 Advisory Board

桂川 茂彦 先生 (熊本大学)  
土井 邦雄 先生 (シカゴ大学)  
長谷川純一 先生 (中京大学)  
星 博昭 先生 (岐阜大学)  
本田 凡 先生 (コニカミノルタエムジー)

## 編集委員会

委員長: 原 武史 (岐阜大学)  
委員: 市川勝弘 (名古屋大学), 井手口忠光 (九州医療センター), 福岡大輔 (岐阜大学), 松本政雄 (大阪大学), 宮地利明 (金沢大学)

## 複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は, (社) 日本複写権センターと包括複写承諾契約を締結されている企業の従業員を除き, 著作権者から複写権等の委託を受けている次の団体から承諾を受けてください。

学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル  
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619  
Email:kammori@msh.biglobe.ne.jp

ただし, アメリカ合衆国における複写に関しては, 次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA  
Phone:978-750-8400 FAX:978-750-4744  
URL:http://www.copyright.com

## Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA  
Japan Academic Association for Copyright Clearance  
41-6 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
TEL:+81-3-3475-5618 FAX: +81-3-3475-5619  
Email:kammori@msh.biglobe.ne.jp

In the USA  
Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA  
Phone:978-750-8400 FAX:978-750-4744  
URL:http://www.copyright.com

## 編集後記

The Carpenters に最近ハマっている。1970年代に青春を過ごした方は当時の熱狂ぶりを思い出すかもしれない。現在は、CD、DVDとメディアにあふれている。武道館でのライブDVDも販売されているし、活動の軌跡を曲を交えて紹介する映像も販売されている。リチャードとカレンの2人は商業的には成功したが、そのプロデュースされた姿には疑問があったようだ。予定のほとんどをコンサート活動と録音で過ごす生活に疑問を持ち、その結果、カレンは拒食症(その後、死亡)、リチャードは薬物中毒で更生施設へ極秘入院(すぐに活動再開、現在も活躍中)。華やかな活動と洗練されたメロディーには影も多かったようだ。といっても、華やかなMII雑誌発行に影があるわけではありません!(は)

## 医用画像情報学会雑誌

平成18年(2006年)5月発行  
定価7,000円(含消費税,送料)

### 発行所

〒951-8518 新潟市旭町通2-746  
新潟大学医学部保健学科  
医用放射線技術学講座内  
医用画像情報学会事務局  
TEL:025-227-0965  
FAX:025-227-0749  
E-mail:mii-office@fjt.info.gifu-u.ac.jp

## 編集委員会

委員長: 原 武史 (岐阜大学)  
委員: 市川 勝弘 (名古屋大学)  
井手口忠光 (九州医療センター)  
福岡 大輔 (岐阜大学)  
松本 政雄 (大阪大学)  
宮地 利明 (金沢大学)

### 編集事務局

〒501-1194 岐阜市柳戸1-1  
岐阜大学大学院医学系研究科知能イメージ情報分野内  
TEL:058-230-6511 FAX:058-230-6514